

県内を代表する伝統芸能が一堂に会する特別な一日。

おおいた 伝統芸能の 祭典

豊後高田市で開催！

出演団体



津久見扇子踊り



関の鯛つり唄・踊り

開催日

9月20日(日)

13:00開演

会場

豊後高田市中央公民館

豊後高田市玉津 987

駐車場

・中央公民館駐車場

・教育会館第2駐車場



公式サイト

入場
無料

申込
不要

全席
自由

当日のスケジュール

11:30～	開場
13:00～	開演（開会式）
13:10～	子ども草地おどり
13:30～	津久見扇子踊り
13:50～	関の鯛つり唄・踊り
14:10～	休憩
14:25～	高田ヤンソ
14:45～	鶴崎踊
15:05～	草地おどり
15:25～	閉会

※時間に変更になる場合があります。

出演団体紹介

① 津久見 扇子踊り

今から約450年前、戦国時代に戦没した勇士や農民の供養の願いをこめて、京舞いの流れを組む扇子踊りを創設したと伝えられています。美しい扇子が舞う優雅さと当時の戦さの様を表す勇壮さのコントラストが特徴です。

② 関の鯛つり 唄・踊り

遠く元禄のころから佐賀関の漁師の間で歌い継がれてきた「関の鯛つり唄」。伝統の一本釣り漁の豊漁を願う踊りは、昭和41年の大分国体の時に振り付けされました。

③ 鶴崎踊

大友氏の時代から450年以上の歴史を持つ、この踊りは、テンポが遅くしなやかで優美な「猿丸太夫（さるまるだゆう）」と、速く軽快な囃子にのって踊る「左衛門（さえもん）」の対照的な二つの踊りが特徴的で、絢爛豪華な世界が観衆の心をひきつけます。

④ 草地おどり

徳川8代将軍吉宗公の時代に、市内草地地区で庶民の間に娯楽としてはじめられて以降、300年以上の歴史を持つ踊りです。「レン」「マッかせ」「ヤンソレサ」「六調子」の4種類から構成され、前半の優しい調子の女踊りから、いつの間にか法被姿に早変わりし、激しい調子の男踊りへと変化していく様子が特徴です。

高田ヤンソ

昭和43年につくられた新民謡。日本舞踊の振りや盆踊りの手が合わさり、豊後高田の四季や美しい景色を表現する優雅で躍動的な親しみのある演舞が特徴です。

出演団体



鶴崎踊



草地おどり

問合せ先

豊後高田市商工観光課

☎ 0978-25-6219